

三国地域包括支援センター新人紹介 -PART 2-



◇新谷社会福祉士さんの、入職3か月後インタビューです◇

Q 正直に感想を教えてください

介護保険制度について全く何も知らない状態からだったので、この3ヶ月間は覚えることがたくさんあり家事・育児との両立が大変でした。

まずは「3ヶ月で一人立ちする」という目標で取り組みました。

しかし、覚えないといけないことが多く、少しでも早く覚えたいと資料等を持って帰るけれど、読む時間が全くなくて朝を迎えるという日々、焦りを感じながらの3ヶ月でした。

Q 新人育成プログラムに沿って、ケアマネ業務や包括業務を行ってきましたが、どうでしたか？

新人育成のための基本理論とケースごとの同行訪問による現場実践を並行して進め、理論の一つひとつを、断片的にケース同行の中で見ながら聞きながら覚えていくというプログラムだった為、理解するのに頭が追いつくのが大変でした。

しかし、ケアマネジメント業務や包括的支援業務（総合相談支援業務等）がどのような仕事なのか理解してからの現場同行による実践研修では、とても3か月で一人立ちすることはできなかった、いろいろなケース同行ができてよかったと思います。

今までになかった新人育成プログラムに沿って、色々なことを教えて頂きました。
先輩職員方と窓口や電話相談のロールプレイも20ケース程行ってきました。
最初の頃は、まだきちんと理解していない中での疑似練習のため、難しかったですが、聞き取りのポイントを教えてもらうなどして、窓口対応の不安も少しずつ解消されました。
来年度からは、家族介護教室の開催等が担当になる予定なので、今後はそちらも勉強していきたいと思います。

Q 働きやすい職場になっていますか？職場環境や労務管理はどうですか？

なっていると思います。
先輩職員方は、忙しい中でも、質問やわからないことを聞いても丁寧に教えてくれます。
また、お休みも業務に差し支えない範囲で取れており、年休も取りやすいです。

Q 包括支援センターでの仕事は大変ですか？やりがいや自己成長できそうですか？

業務範囲が幅広く、まあまあ大変だと思います。
しかし、先輩職員方から「困難ケース対応でも、包括は最後の砦にならないといけない」と教えて頂いたことが心に残り、これからもそれを忘れずに対応しなければいけないなと思っています。
ケアマネジメント業務と包括的支援業務（総合相談支援業務等）があり、業務範囲は広いですが、地域にはなくてはならない存在で、その一員として仕事ができることにやりがいと成長を感じます。
包括的支援業務については、まだまだ知らないこともあると思うので、一つ一つ経験しながら成長していきたいと思っています。

Q 社会福祉法人清水新生会はどうですか？

新型コロナウイルスの抗原検査キットを支給してもらえ、家族が県外に行った後などに使用したりなど、安心して職場に行けています。
また、私が入社する少し前に電子タイムカード X'sion が導入されたようで、とても便利です。

先輩職員から一言

社会福祉士として、相談業務とケアマネジメント業務の経験がない状態で入社されて、3ヶ月が経ちました。

前年度入社した先輩の社会福祉士が中心となり、新人プログラムを作成し、新人の新谷さんの理解度や気持ちに合わせて修正を加えながらも、3か月間の新人プログラムに沿った育成を行ってきました。全職員で一丸となり、絶対に育てないといけないという思いが、全職員の環境改善意識やモチベーション向上にもつながったと思います。

今後も地域になくってはならない地域包括支援センターを共に目指していきたいと思います。